

「省エネルギー学習会」					
会議年月日	30年5月4日	時間	13:30 ~ 15:30	場所	流山市生涯学習センター(3F)
出席者	平手、山田、青木、増永、高橋、深瀬、難波、大前、春田(記)				
議 題					
5月度省エネ学習会を開催した。(放送大学の教材を利用した)					
1, 地球温暖化問題解決への取り組み「ステークホルダーとその役割」					
①問題解決に対する日本の多様なステークホルダーの取組					
②温暖化問題解決から持続可能な社会の実現への展開					
③企業・市民イノベーションのスケールアップのために					
<概要>					
<p>地球温暖化問題に対応する上では、それだけを解決するというよりは、多層に関連するグローバルな問題を解決し、将来に向けた持続的な社会や世界を作り上げていく必要がある。そのためには、国だけではなく企業や市民など多様なステークホルダーが果たす役割が重要である。ここでは、2015年に合意された持続可能な開発目標SDGsを含む2030年アジェンダ達成に向け、地球温暖化問題に対する行動を実社会・実生活の中で実践し、より持続的な企業や市民のライフスタイルへの変換の必要性を解説する。</p>					
<p>2, 産業界の取り組み「水素社会と炭素隔離」</p>					
①低炭素化と水素利用					
②炭素隔離技術					
③水素の燃料としての利用					
<概要>					
<p>低炭素化を図るためには、実効性のある二酸化炭素の隔離技術などが必要になっている。一方で、二酸化炭素を排出しない水素利用が現実味を帯びてきている。ここでは具体的な活用事例を紹介し、将来像を概説する。</p>					
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>①低炭素化と水素利用</p> <p>②炭素隔離技術</p> <p>③水素の燃料としての利用</p> </div> <div style="width: 45%; text-align: center;"> </div> </div>					
<次回予定>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・日時＝平成30年6月1日(金) 13:30～15:30</li> <li>・会場＝流山市生涯学習センター(3F) 大会議室</li> <li>・講師＝遠藤 剛(流山市環境政策課係長)</li> <li>・内容＝流山市環境白書を学ぶ(流山市地球温暖化対策実行計画の実施状況)</li> </ul>					
以上					